



2020・10・21

第 389 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

強権的、独裁的菅新政権の本性を訴えて

社会人になっても大事と高校生

【山形県／九条の会山形市連絡会】 九条の会山形市連絡会は9日、山形市内で安倍改憲を継承すると表明した菅義偉政権発足後2度目の「改憲発議に反対する全国緊急署名」の街頭からの呼びかけを行い、約40分間で26人が署名しました。

墨田区で東京大空襲に会った後に母の実家がある山形市に疎開し、現在も同市に住み続けている80代女性が駆け寄ってきて署名。「父親はビルマで戦死し、疎開先は母の姉妹2人とその子と同居する大家族。母の苦勞を思うと戦争はどんなことがあってもしてはいけない」と語りました。

コロナ禍の中で就活をしている男子高校生は、「学校で勉強した憲法9条には平和への願いが込められている。社会人になってからも大事な憲法を守りたい」と署名。

賛同者を掲載したポスターに「ルポライターの鎌田慧さんの写真も載っている」と握手を求めてきた76歳の男性。「多くの有名な人が賛同している。9条を守るために頑張っている姿をみてうれしい」と対話し

臨時国会、10月26日に召集

菅内閣誕生後初の本格的論戦の場となる臨時国会が10月26日、召集されます。当日は、3団体の共催で「いのちを守れ！敵基地攻撃能力保有反対！改憲反対！共謀罪廃止！総選挙勝利！10・26臨時国会開会日行動」が行われます。

◇日時 10月26日 12:00～

◇場所 衆議院第2議員会館前

◇「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」「共謀罪NO！実行委員会」「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」

ながら署名しました。

黙っていれば締め付けは強まる

【和歌山県／憲法9条を守る和歌山県弁護士会】 憲法9条を守る和歌山県弁護士の会は8日、憲法の破壊を許さないランチTIMEデモを和歌山市で実施し、50人が参加しました。

参加者らは雨の中、「憲法壊すな」「9条守れ」など訴え市内を行進しました。菅政

権発足後初めてとなったデモで、豊田泰史弁護士は「日本学術会議の任命拒否にみられるように菅政権は強権的で独裁的な姿をあらわした。国民が黙っているようなことがあればさらなる締め付けが予想される。今回の任命拒否を契機として菅政権反対の意思表示をしなければ、再び戦争への道をたどるのではないかと心配している」と話しました。

学術会議員任命拒否は国民全体の問題

【愛媛県／愛媛9条の会】 愛媛9条の会は9日、松山市の繁華街で定例の街頭宣伝をし、改憲発議に反対する緊急署名への協力を呼びかけました。

森英二事務局長はマイクを握り、日本学術会議推薦会員のうち6人を菅首相が拒否したことは、「憲法が保障する学問の自由の侵害であり、表現の自由や基本的人権にもかかわる。学者の世界だけの問題ではなく、国民全体の問題だ」と強調。「安倍政権以上に憲法を無視する政権と言わざるを得ない」と批判しました。

自ら選んで署名した市内の男性（47）は「多額の税金で兵器を買い、米国の軍事産業をもうけさせる日本は『アメリカいいなり』に見える。いま9条を変えると米国の軍事戦略に巻き込まれるだけで危険」と話しました。

非正規労働者の目覚めに注目

【横浜市青葉区／青葉台地域九条の会】

○9月9日午後4時から、6名が参加して改憲発議反対署名を集めた。相変わらずコロナ警戒のため、署名はテーブルに来て

もらう17名にとどまった。

署名をしてくれるのはやはり女性がほとんどで、中には強い怒りをもって家族全員の署名を代筆した母親もいる。この思いを組織したいものです。

○月例会 9月22日、今月はやや少ない12名の参加であった。コロナの心配もあるが早く収束し、20名くらいの参加を得て続けていきたい。

例会の最初に、現状について様々な問題点をあげながら討論ができた。①全国的に育鵬社版を徹底的に弱体化させた大きな成果があるが、他方において彼らの跳梁が文科省の検定制度に大きな悪影響を与え、日本の教育を捻じ曲げた。これを回復するには当然育鵬社放逐以上の大きな闘いが必要になる。②現役サラリーマンの無関心化を指摘したが、若者も同様に政治離れをしている、これは自助強調などによるかもしれないが、マスコミの権威低下とでもいえる現象と因果関係になり合っているように思われる。ネットによる新聞離れは、世界中で大新聞社の経営問題にまでなっている。③非正規労働者の目覚めが見え始めた。その他にもいろいろな討論がなされた。

（「青葉台九条の会ニュース」NO157）

安倍政権上まわる危険 菅政権

【東京都文京区／本郷・湯島九条の会】

秋風が心地よく流れる本郷三丁目・かねやす前の昼街宣になりました。きょうは9人の参加者で賑やかな雰囲気でも活動し、プラスターを持つひと、マイクで九条改憲反対を訴える人、元気よく活動しました。

プラスター：ケイタイ料金ちよっぴり下げ

て、公費はバツサリ、たつぷりと歳費もらって叫ぶ自助。苦労人冷たい人もいるんだな。杉田副長官ってだあれ、アベ官僚がそのままスガ官僚、6人任命拒否。敵基地攻撃よりコロナワクチン治療薬。イーゼス・アショアの失敗、虫の良すぎる敵基地攻撃準備、憲法9条違反。

マイクでは：日本学術会議推薦の105人のうち99人を任命し6人を任命拒否したことを告発しました。後に菅義偉首相は「推薦者名簿を見ていなかった」と発言。こんな首相はこれまでいなかった。日本学術会議法施行以来71年の間、推薦者を任命拒否したことはなかったこと、法解釈変更権は内閣にはないこと、戦前の滝川事件、天皇機関説事件によって学者が大学を追放され、学者が戦争に協力させられた、その反省にたつて日本学術会議ができたこと、などを訴えました。近く予想される総選挙で、立憲野党連合政権をつくるためには多くの方々が国会議員を後押しし、投票所に足を運ぶことが決定的に大事だ、と訴えました。

さらに「敵基地攻撃能力保有論」に訴えは続きます。米中、北朝鮮をはじめ世界情勢が緊迫してきた今日、核兵器あるいは武力などによってこの情勢は解決できない、とりわけ中国の戦力は格段と上がっており、わたしたちが認識しているようなあまいものではないこと、太平洋戦争で日米開戦の失敗を未だに総括していないこと、日本は多くの国々と国交を結んでおり、国際情勢をしっかりと見極めながら、国際関係の中で平和なアジア、世界を創造するうえで憲法9条を持つ日本の果たす役割は大きい、と訴えました。

参加なさっていただいた各位にその奮闘を讃えたいと思います。今度の菅義偉政権はアベ政権を上回るファッショ的な危険性が浮かび上がってきました。長きに渡ってかねやす前で街宣をおこなってきましたが、手を緩めるわけにはいきません。これからいっそう魂を込めて活動を展開したいと思います。わたしたちの子や孫、曾孫のためにも。そしてアジア・世界平和のためにも。(石井彰)

コロナの痛み癒したバスツアー

【和歌山県／和歌山県障害者・患者九条の会】 「和歌山県障害者・患者九条の会」は9月27日、参加者19名で、伊都郡かつらぎ町天野（あまの）の里、丹生都比売（にうつひめ）神社を見学する和歌山県福祉バスを利用したバスツアーを行いました。

現地では、「天野の里づくりの会」会長の谷口千明先生より神社にまつわる歴史、天野の里の説明を聞くことが出来ました。神社に参拝し鳥居の柱に触れ田園風景を楽しみ穏やかな一日を堪能しました

古代、朝鮮半島より渡来した人たちの中で、水銀の採掘に携わる人々によって祀られたのが各地の丹生神社とされています。丹生都比売神社は、全国に約180社ある丹生都比売を祀る神社の総本社。創建は高野山開創より古く、空海は金剛峯寺の建立に当たり丹生都比売神社から神領を譲られたそうです。その際、空海は高野御子神（狩場明神）と丹生都比売神（丹生明神）の化身とされる2匹の犬に山へ導かれたと伝わっているそうです。

谷口千明先生よりこうした興味深いお話

をたくさん伺いました。天野の里は標高が高く、吹く風もひんやりと秋の深まりを感じました。天野のトマト、柿、栗を土産に、今回はコロナの影響のため4月実施予定の延期リベンジとなりました。参加者は検温、マスクの着用、車内では二人で並んで座らないなど、コロナの感染対策を万全に行いつつ、みんなの強い思いが一つになって有意義な交流のひとつときを作り上げたように感じる日となりました。(事務局・野尻誠さんより「九条の会・わかやま」411)

会員協力しあい活動積み上げ

【東京都国分寺市／国分寺九条の会】

9名の方のよびかけで「九条の会」が結成されたとき、私たちは年末に大きな講演会を開きました。その運営に当たった者や参加者が集まって、2005年の半ばに「国分寺九条の会」はスタートしました。以来、毎月9日、ずっと駅頭宣伝を続けてまいりました。

そして、とても大きなことは、毎月1回の9の日の宣伝行動を行う中で、2015年の戦争法反対の闘争があり、この際、九条の会のメンバーだけで街頭宣伝、駅頭宣伝をやるのではなくて、超党派のリレートークをやらう、と各政党に呼びかけました。

シール投票が縁で9条の会のニュースを送るようになっていた末松義規衆院議員に呼びかけたら、来てくれました。共産党も、社民党も、生活者ネットワークも来てくれ、戦争法反対の超党派リレートークを行いました。これを何回か続けました。戦争法は強行採決されてしまいましたが、その経験を通して、私たち国分寺九条の会の毎月の

駅宣の中から、「市民連合@国分寺」が生まれました。以後19日に毎月一回宣伝を続けています。

事務局は有志の人で何とか維持していません。会費を徴収する会員制ではありませんので、資金がなくなると、だいたい2年に1回程度、カンパを呼びかけて活動資金にしています。月一回、事務局会議で話し合ってニュースを作ります。現在約700名の届け先があり、ニュースが届いている先が会員ということです。ニュースを封筒に詰めて仕分けして、たとえばAさんに70通お願いすると、そこからBさん、Cさんというふうに、さらに分けて、手配りする。大体3日、4日で全部届け切ります。これがちょっと頑張っていると言える点なのかなと思います。ずっとコツコツと続けてきた結果、ニュースは190号になりました。

駅宣も9の日にやり続けて、今はいろいろな方々が交代交代で話をしてくださいます。主にチラシを配り、マイクで宣伝をしながら、さまざまな持ち寄られた署名を集めます。3000万署名や新署名も、他にも、消費税反対の署名、ヒバクシャ署名、核兵器廃絶の署名などいろいろやっています、大体1回1時間の駅宣で、200枚くらいのチラシを配り、さまざまな署名が大体50筆くらい集まります。

「継続は力」と言いますが、その積み重ねから市民連合が生まれました。粘って粘ってやっていって、安倍政権と安倍なき安倍政権の改憲の企みは絶対に阻止しようと誓い合って活動をしているところです。

(国分寺九条の会・増島高敬／「九条の会東京連絡会「生きいき憲法」No69)